みなさまの健康と心の支え

小千谷総合病院 第35号
地域連携だより

新潟厚生連

発行：ＪＡ新潟厚生連　小千谷総合病院　患者サポートセンター
〒947-8701 小千谷市大字平沢新田111番地
TEL．0258-81-1616(直通)　FAX．0258-81-1602(直通)

産婦人科ご紹介

今年度は産婦人科を２回に渡ってご紹介します。

副院長　産婦人科　　平　澤　浩　文

小千谷総合病院産婦人科の平澤と申します。小千谷に赴任して、早20年が過ぎました。前身の魚沼病院時代からの医者になりますので、写真を見て「ああ、まだ頑張ってるんだ」と思い出してくれるお母さまたちもいらっしゃるかもしれません。その20年の間に産婦人科、特に分娩に関しては幾多の変化がありました。その中で、地域唯一の分娩取り扱い病院として。小さい施設であるからこその工夫をしながら分娩取り扱いを継続してきました。

当院の分娩・周産期に関する信条についてはあちこちで話してきました。

① 里帰り分娩を推奨する
② 立ち会い分娩を推奨する
③ 産後のケアを充実させる

これらに関しては繰り返しになりますので今回は省きます。詳しくは、小千谷総合病院ホームページの右上に産婦人科関係のバナーがあります。その中で私が熱弁していますので、是非ご覧になっていただきたいと思います。

さて、我が国では近年少子化の問題が度々話題になります。その解決策の一つとして、分娩取り扱い施設を減らさないことにあるのではと考えています。どこで妊婦健診を受けるか、どこでお産をしようか、妊婦さんたちの悩みでもあり、選ぶ楽しみでもあるかと思います。いくらよさそうな施設が見つかっても自宅からの通院が遠くて困難であれば不可能になります。近くに施設があることが大事なのです。また、全ての施設が同じような診療をしているわけではありません。当科としては、あまり敷居が高くなく、近くて通いやすい施設でありたいと考えています。

1　妊婦健診にストレスを感じさせないように

「妊婦健診に行ったら２時間待たされた」
「上の子連れて行ったらいい顔されなかった」

某口コミでよくみられる悩みです。当科では待ち時間を少しでも減らすように、特に妊婦さんは10分刻みで予約を取っています。待ち時間が短くなるように、検査の順番に気を使っています。予約に遅れても、急がなくて大丈夫です。必ず診ます。上のお子さん？大歓迎です！うるさい子、大好きです。特に当院で取り上げた子の成長を見ること、大好きです！お母さんの徐々に大きくなるおなか、上の子に見せてあげてください。エコーで見るおなかの中の赤ちゃん、上の子にぜひ見てもらってください。ご主人？大歓迎です！二人で作った赤ちゃんという作品がどのように育っていくのか、ぜひご自身の目で確かめてください。

2　時間外の電話に工夫を

妊娠は、お産が完了するまで毎日、24時間続きます。ということは、妊娠にかかわる異常も24時間いつ起こるかわかりません。そこで妊婦さんが頼りにするのが時間外受診です。最近では、電話をかけてから受診される方がほとんどですが、その電話の相手に救急外来の看護師だけではなく、助産師も積極的にかかわるように工夫しています。電話だけの時間外の相談はもちろんお断りですが、時間外受診を希望される方の助けになればと努力しています。

3　身の丈に合った分娩・診療を行う

当院は、産婦人科医がぞろぞろいるような大病院ではありません。よって、すべての分娩を当院でできるわけではありません。一部特殊な妊娠・分娩は長岡３病院、魚沼基幹病院などにお願いすることもあります。その代わり自分たちのできることは自信をもって皆様に提供する、という立場で診療しています。

今回いくつかの当科の特徴を述べましたが、当院だけの努力で成り立っているのではありません。特に小千谷市からは、「産科魅力向上支援事業」と銘打って当院の産科診療に多大なご協力をいただいています。「地元で生まれる赤ちゃんをなくしたくない」という思いで多大な支援を市からいただいております。そうそう、この春には、外来に念願の４Ｄエコーが導入されました。もちろん、「小千谷市からの贈り物」です。今まで以上におなかの中の赤ちゃんの様子がリアルタイムに見ることができるようになりました。赤ちゃんの姿勢が良ければ、お顔までばっちり写ります。もちろん、無料です。上のお子さんやご主人も一緒におなかの中の赤ちゃんを覗いてみましょう。

小千谷総合病院産婦人科外来の取り組み

小千谷市在住の方は、妊娠反応が陽性になり母子手帳の交付を受けるまで、初回産科受診料補助事業により、自費分の会計が補助されます。産婦人科外来では、地域の妊婦さんがスムーズに補助を受け、安心してお産を迎えられるよう、真心こめた親切な関わりを大切にしています。

妊婦健診開始後は、妊娠週数に応じた過ごし方や異常時の対応、検査説明、診察介助などを行っています。４月１日から妊婦さんのRSワクチンが公費になるに伴い、スタッフがRSワクチンに対する知識を身につけ、妊婦さんへの説明とワクチン接種を行っています。ワクチン接種後の経過観察時間の合間に妊婦健診を行うなどして、副反応の早期発見、待ち時間の短縮に心掛け、妊婦さんの負担軽減に努めています。

令和８年２月中旬から小千谷市より、４Ｄエコーが寄贈されました。４Ｄエコーの使用は、妊娠週数や赤ちゃんの胎位をふまえ、見えやすい時期に医師の判断で行っています。立体的な動画が見られるためとても感動的で、赤ちゃんの顔や手足が妊婦さんにもわかりやすく、エコーを楽しみながら母性を育むことができます。わかりやすく撮れた赤ちゃんのエコー写真は妊婦さんにもお渡ししており、喜びの声を頂いております。

また、外来独自のサービスとして看護師によるアロマ芳香浴を用いた下肢のマッサージを実施しています。妊娠に伴う下肢のむくみを改善し、リラクゼーションの効果もあります。個室でゆっくりとマッサージを行うことで、妊婦さんの気持ちが和み、不安を伝えやすくなります。実施後「気持ちよかった。」「出産への恐怖が和らぎ、少し前向きになれた。」「こういう時間があるとまた頑張れる。」などの言葉を頂いております。妊婦さんの不安や悩みを傾聴し、サポートできる大切な時間となっています。妊婦さんによって抱える不安や思いは様々で、その一つ一つに寄り添い、個々に合った関わりを行うよう心掛けています。

妊娠から出産、産後まで、医師や病棟助産師とこまめな情報交換を行って協力し合いながら、異常の早期発見・早期対応に努め、個別性に配慮した外来看護で周産期を継続的に支援させていただいております。

ぜひ、当院で一緒に妊娠期を過ごしてみませんか。温かいスタッフ、ユーモアのある医師がお待ちしています。

病診連携よりご案内いたします

当院での里帰り出産・分娩ご希望の患者様をご紹介の際は、当院「紹介患者事前申込書」は使用せず、患者様ご本人から産婦人科外来（病院代表電話0258-81-1600）へ直接お電話をかけていただきますと看護師が話をうかがい受診日時等ご案内いたします。

※ゆっくりと患者様のお話をお聞かせいただきたいので午後２時～４時の間にお電話をお願いいたします。

お知らせ

✤この度、医師の異動に伴い担当医が変更になりました。

【令和８年３月31日退職】

常　勤	（内科）	• 小林　　政	→	令和８年４月１日～臨時勤務（毎週水曜） ※再診の方のみ診療
		• 山崎　純希		

		【令和８年３月31日まで勤務】		【令和８年４月１日から勤務】
非常勤	（内科）	• 若林　知哉（毎週金曜）	→	野川　真登（毎週金曜）
	（眼科）	• 吉田　博光（毎週月曜）	→	佐藤　　新（毎週月曜）
		• 福地　健郎（毎週火曜）	→	福地　健郎（毎週火曜） 野﨑　耀平（毎週火曜） ※火曜日は２診になります
		• 野﨑　耀平（毎週木曜）	→	井上　光弘（毎週木曜）
		• 若井 美喜子（毎週金曜）	→	吉田　哲広（毎週金曜）

✤泌尿器科診療体制が変更になりました。

令和８年３月より、従来の毎週火曜日に加え金曜日も診療（完全予約制）となりました。

編集後記

地域連携支援部長　　家　里　　裕

少子高齢化が叫ばれている昨今、今回は小千谷地域で唯一分娩を取り扱い頑張っている産科を御紹介させていただきます。

小さな施設ならではの妊婦さんに寄り添った安心できる環境などが紹介されています。また、小千谷市からは「産科魅力向上支援事業」として長年多大な支援を受けています。

これらの工夫により、この地域の少子化が少しでも緩和されることを願っています。

令和８年４月19日撮影
中越大震災復興記念祭